

兼 商

害虫とうどんこ病の同時防除剤

モレスタン

水和剤

® (キノキサリン系25%)



オンシツコナジラミ



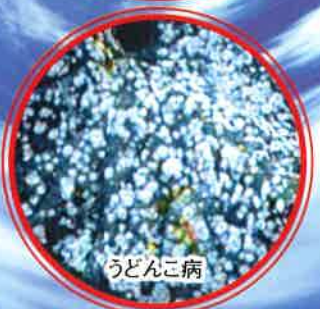
ハダニ



チャノホコリダニ



イトサビダニ



うどんこ病



永い信頼、確かな効きめ

モレスタンはキノキサリン系の薬剤で、野菜や花類のうどんこ病に特効的な効果を示し、また、みかんのダニ剤としても広く使用されています。

®はドイツ・バイエル社の登録商標

特 長

- ◆低濃度で各種作物のうどんこ病を確実に防除し、オンシツコナジラミ、タバココナジラミにも効果があります。
- ◆施設栽培でくん煙や常温煙霧もできます。◆ハダニ類の卵、幼虫、成虫の各ステージにすぐれた効果があり、サビダニにも有効です。
- ◆他剤に抵抗性を持ったダニ類にも優れた効果を示します。◆天敵や訪花昆虫などの益虫に対しても悪影響の少ない薬剤です。

■適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キノキサリン系を含む農薬の総使用回数	
きゅうり	うどんこ病 コナジラミ類	2000～4000倍 2000倍	100～300ℓ /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
トマト	コナジラミ類 トマトサビダニ	1500～2000倍			5回以内		5回以内	
すいか	うどんこ病	2000～4000倍		収穫3日前まで	10回以内		10回以内	
メロン					3回以内		3回以内	
まくわうり								
かぼちゃ	うどんこ病	2000～4000倍		収穫前日まで	3回以内		4回以内	3回以内
ピーマン	うどんこ病 チャノホコリダニ	2000～3000倍						
なす	うどんこ病 チャノホコリダニ	2000倍		収穫10日前まで	3回以内		3回以内	
しそ	ハダニ類 シソサビダニ	3000倍						
にがうり	うどんこ病	2000倍		収穫前日まで	4回以内		4回以内	
オクラ	ハダニ類 うどんこ病	3000倍			3回以内		3回以内	
いちご	うどんこ病	3000～4000倍			2回以内		2回以内	
みかん	ハダニ類 チャノホコリダニ ミカンサビダニ	1000～2000倍	200～700ℓ /10a	収穫7日前まで	3回以内	3回以内		
かんきつ (みかんを除く)				収穫30日前まで	1回		1回	
みょうが (花穂)	ハダニ類	3000倍	100～300ℓ /10a	収穫前日まで	3回以内	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する	3回以内	
みょうが (莖葉)				みょうが(花穂)の収穫前日まで 但し、花穂を収穫しない場合に あつては開花期終了まで				
はすいも(葉柄)				収穫前日まで				
食用さくら(葉)				収穫21日前まで				
桑	うどんこ病 ハダニ類	1000～2000倍 2000倍	100～700ℓ/10a 200～700ℓ /10a	発生初期	10回以内	散布	10回以内	
花き類・観葉植物 (カーネーションを除く)	裏うどんこ病	2000～3000倍	100～300ℓ /10a	発病初期				
カーネーション	ハダニ類	1000倍		発生初期				
樹木類 (こでまり、ポインセチア、 やなぎを除く)	うどんこ病	2000倍	100～700ℓ /10a	発病初期				
こでまり		2000～3000倍		発生初期				
ポインセチア	コナジラミ類	1000～2000倍		発生初期				
やなぎ	うどんこ病	2000倍		発病初期				
	ハダニ類	1000倍	発病初期					

■くん煙法・常温煙霧法

作物名	適用場所	適用病害名	使用量	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	キノキサリン系を含む農薬の総使用回数
ばら	温室、ガラス室、ビニールハウス等密閉できる場所	うどんこ病	20g/100m³ (50m²×2m)	5ℓ/10a	—	10回以内	くん煙	10回以内
ピーマン			収穫前日まで		3回以内	3回以内		
きゅうり			50～100g/10a		収穫3日前まで	10回以内	常温煙霧	10回以内
メロン			100g/10a					

2019年3月27日現在

△効果・薬害等の注意

- ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- 盛夏の高温時及び、施設内の高温時での使用は、薬害を生じるおそれがあるので、所定範囲内での低濃度で使用してください。又、定植直後や幼苗、軟弱苗等には使用しないでください。
- かんきつの盛夏高温時での散布は、薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- いちごの収穫間近(果実が白味をおびる頃)での散布は、薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
- コナジラミ類に対しては2令幼虫～成虫に対する効果は低いので発生初期の卵の多い時期に散布してください。
- 本剤をすいも(葉柄)に使用する場合、葉面の薬液溜まりの部分に褐変を生じることがあるので注意してください。
- 虫に対して影響があるので、桑に使用後5日間は蚕に桑葉を給餌しないでください。
- 樹木類に使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、開花期及び新葉展開期の使用をさけてください。
- 本剤の連続使用は、ハダニ類の薬剤抵抗性の増加や薬剤耐性菌の出現等により効果が減するおそれがあるので、過度の連用を避け、他の薬剤との輪番で使用してください。
- ポインセチアに使用する場合、品種によっては苞葉に薬害を生じることがあるので、苞葉着色後の使用はさけてください。
- 花き類に使用する場合、開花中の花弁には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

△使用上の注意

- 粉末は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 粉末は皮膚に対して弱い刺激性があるので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- くん煙及び常温煙霧中はハウス内へ入らないでください。また、くん煙及び常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜に被害を及ぼさないよう注意してください。

魚毒性等…水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管…密封し、直射日光を避け、食品と区別して、子供の手の届かない冷涼・乾燥した所。

ハウスなどのくん煙または常温煙霧用として使用する場合

- 煙霧用として使用する場合は専用の常温煙霧機により、所定の方法で煙霧してください。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当っては、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- くん煙用として使用する場合は専用のくん煙器(蒸散器)により所定の方法でくん煙してください。
- 作業中はできるだけ刻引き、作業終了後、煙霧の場合は6時間以上、くん煙の場合は12時間以上密閉してください。できれば翌朝までそのままし開放後十分換気して入室してください。
- 作業中及びハウスの密閉中は室内に入らないでください。やむを得ず入室する場合は防護マスク、長袖作業衣、手袋などを着用してください。

●使用前にラベルをよく読んでください ●ラベルの記載以外には使用しないでください ●小児の手の届く所には置かないでください ●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください

TS19C08(N・E・L2)